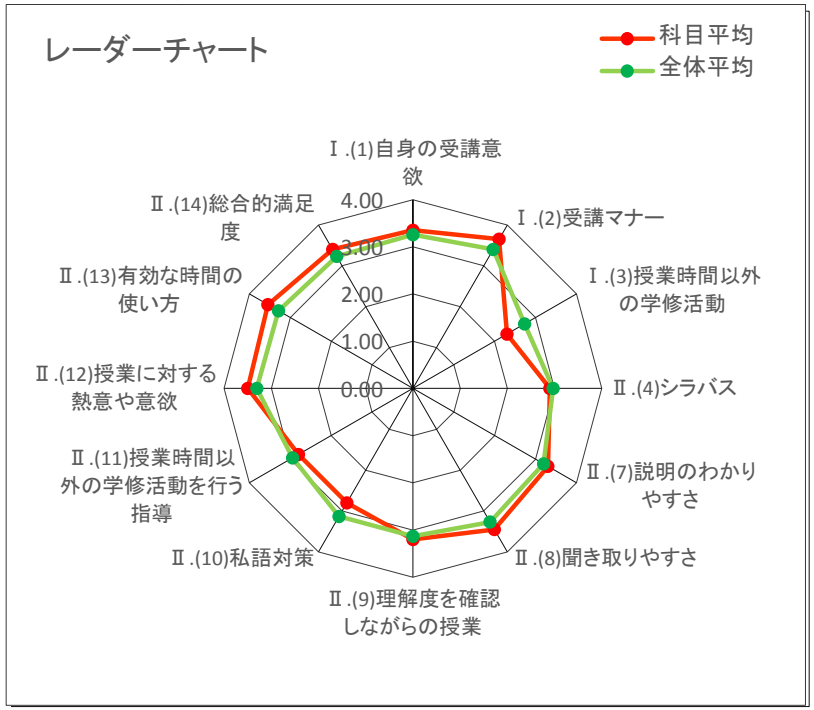
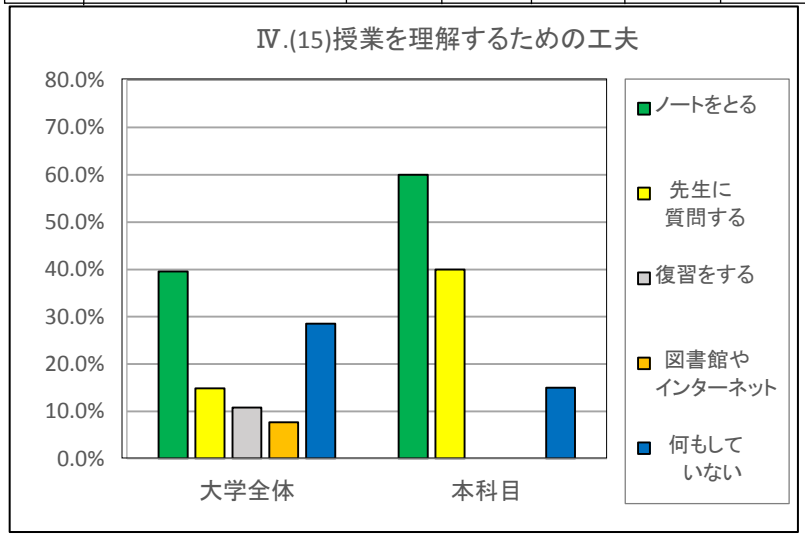
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.35	3.26
	Ⅰ.(2)	3.65	3.40
	Ⅰ.(3)	2.30	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.90	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.30	3.20
	Ⅱ.(8)	3.45	3.27
	Ⅱ.(9)	3.20	3.13
	Ⅱ.(10)	2.80	3.13
	Ⅱ.(11)	2.80	2.94
	Ⅱ.(12)	3.50	3.31
	Ⅱ.(13)	3.55	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.40	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	15.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.10	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.19	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.40	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	22304
科目名	民法Ⅰ
教員名	

①授業計画の達成度について

今年度は履修者が倍増したため、昨年度に比べ進度が遅くなった点は否めない。とはいえ、基本的な法律のものの考え方を習得するという点からすれば、昨年度と同様の内容を話すことができたと思う。自由記述欄に「興味がわくような事例で、対話が多くて楽しい」と書いた学生が同時に「難しい」というコメントをしているが、一名だけであるので、難易度設定はほぼ適切であるように考える。

②授業の進め方について

説明のわかりやすさ、聞き取りやすさ、理解度を確認しながらの授業はほぼ問題ないと考える。履修者が倍増したため通常より若干私語が多くなったかもしれないが、対話型の講義ということもあり、多少は仕方ないと考える。自由記述欄の「携帯を触る人もいなくてスムーズに授業が進んだ」とのコメントが授業中の学生管理を裏付けてくれているように思われる。また、熱意や満足度についても概ねよいと思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

授業時間以外の学習活動が不十分である点は否めないが、授業内の確認テストの難度を上げているため、その点は受講生もしっかり学習したように思われる。本科目は後期科目の「債権法」に関連している科目であり、今回のアンケートを活かして後期の「債権法」につなげたいと考える。自由記述欄のコメントにもあったが、身近でわかりやすく、楽しい講義に今後もしてゆきたいと考える。

奈良学園大学